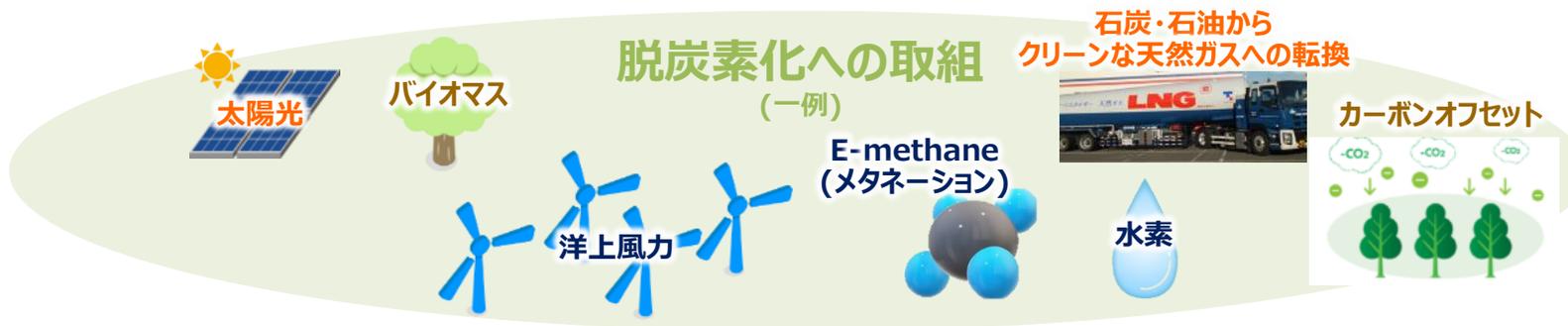
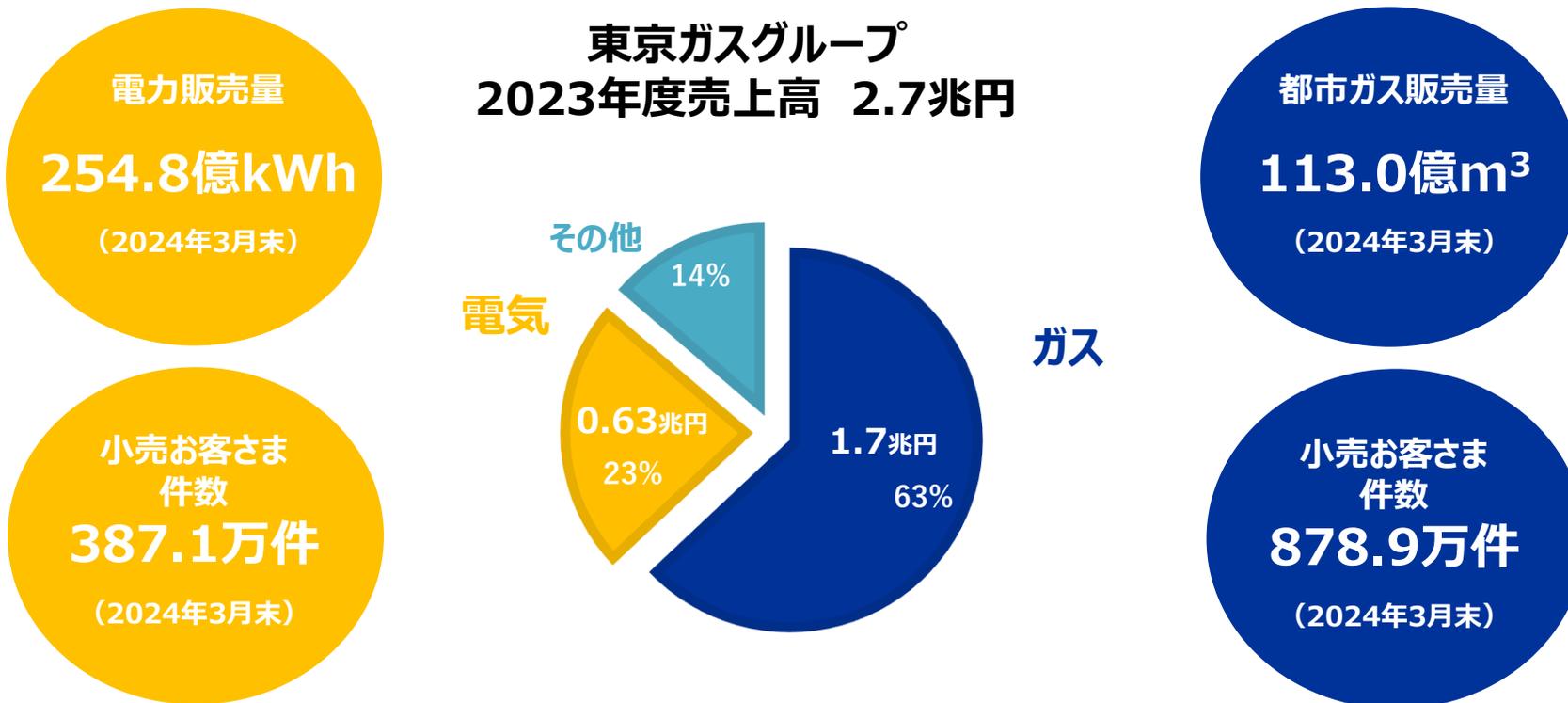
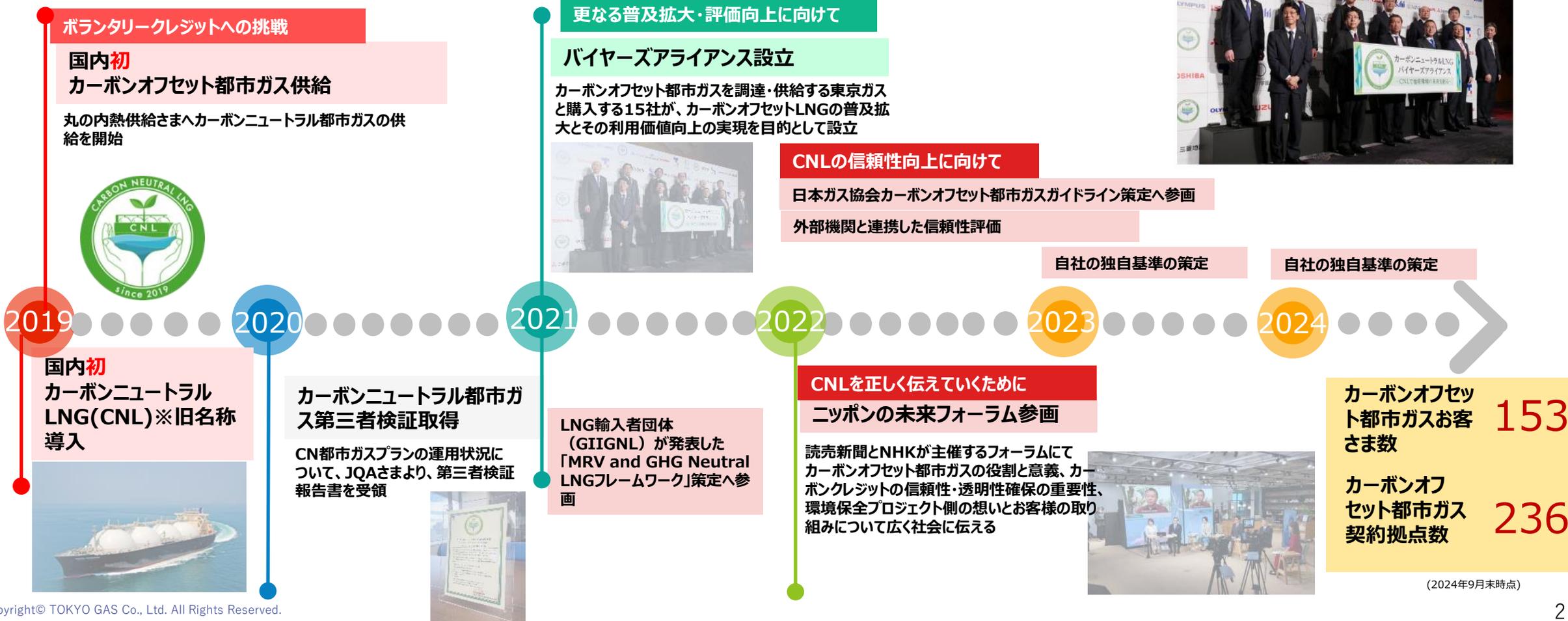


東京ガスの事業状況



東京ガスのカーボンクレジット活用 ～これまでの軌跡～

2019年度に、クレジットでオフセットされた都市ガス＝カーボンオフセット都市ガス（旧名称：カーボンニュートラル都市ガス）を日本で初めて導入。信頼性や社会的評価向上の取組を弛まず重ね、24年9月末時点で**153社、236拠点**のお客さまに供給している。



東京ガスのカーボンクレジット活用



カーボンオフセット都市ガス（お客さま向け）

地球環境貢献型メニュー



- バリューチェーン全体で排出される温室効果ガスを**森林保全等で創出されたボランティアカーボンクレジット**で相殺することで、地球規模では排出量がゼロとみなされる都市ガス
- クレジット創出国での様々なSDGsの目標達成に寄与するPJを支援可能

排出係数調整型メニュー

2023年より提供開始



- 排出される温室効果ガスを**Jクレジット**等で相殺することで、「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度（SHK制度）」における「調整後排出係数」がゼロとなる都市ガス
- 「SHK」制度において都市ガスの調整後排出係数をゼロとして報告可能

自社による活用

自社活動排出CO2ネットゼロ



自社利用ビル、都市ガス製造設備等を対象に2030年度のCO₂ネット・ゼロを実現することに向け、本社ビルでカーボンオフセット都市ガスを活用

都市対抗野球大会のカーボンオフセット



大会期間中の運営や観客等の移動等に伴い排出される温室効果ガスを、Jクレジットでカーボンオフセット

(参考) Jクレジット創出に関する業務提携契約の締結について

- クレアトゥラ株式会社と、Jクレジット創出に関する業務提携契約を締結。
- 本契約を契機として、省エネや燃料転換、太陽光発電といったエネルギー分野を始めとして、森林保全等の自然資本分野でのJクレジットの創出拡大に取り組み、安定的な供給の実現を目指す。
- また、企業や自治体のお客さまから東京ガスに寄せられる、自社保有設備や地域内の脱炭素の取り組み、貴重な自然資本における環境価値の顕在化を共同で支援することにより、**将来的には年間20万t程度のJクレジット創出を目指していく。**

